

東信陸上、佐久大会、東信大会、県大会！

5月25日（土）の東信陸上大会をはじめ、3年生にとっては最後の夏季大会が行われてきました。陸上競技部は東信陸上大会で15種目に入賞し、6月29日、6月30日（土・日）に開かれた県陸上大会に参加しました。また、6月8・9日に行われた佐久大会では毎年のように多くの部が入賞し、東信大会出場を果たしました。6月22・23日に行われた東信大会の結果、女子バスケットボール部、柔道部、新体操、水泳種目が県大会への出場権を得ました。部活動を通して、多くのことを学び、心身ともに大きく成長し、素晴らしい仲間たち、素晴らしい日々に出会ってきたことと思います。残念ながら敗退してしまった部の生徒も、御代田中の生徒として最後まで全力で競技に臨み、応援して下さった保護者の皆様に感謝を抱くとともに、活動してきた仲間と感動を分かち合い、中学校時代の大切な思い出の一つをつくることができました。部活動から学んだことを今後の生活の中で活かし、次の目標に向かってスタートしてほしいと思います。なお、各大会結果の詳細につきましては、裏面をご覧ください。



＜東信陸上壮行会の様子＞



＜佐久大会壮行会の様子＞



＜佐久大会の様子＞

あたまやま

御代田中学校便り

令和元年度第二号

新元号「令和」時代の最初の生徒総会にあたり

御代田中学校校長 勝見藤一

「令和」になって最初の生徒総会が5月9日（木）に行われましたが、その中で、校長からの話として、生徒たちに贈った言葉を紹介させていただきます。

「令和」になって初めての生徒総会ということで、皆さんも既にご存じのことだと思いますが、改めて、新元号の「令和」の出典元についてお話しします。

出典元は、奈良時代の日本における現存する最古の歌集である「万葉集」です。万葉集は、天皇や皇族・歌人・農民など、幅広い階層の人が詠んだ約4500種の歌が収められています。

その万葉集の一節で、天平2年、西暦でいうと730年、今から約1300年前、旧暦の正月十三日、現在のグレゴリオ暦に当てはめると、現代の2月8日にあたります。福岡県太宰府市にあった太宰府長官の相伴旅人（おおともの たびと）の邸宅において「梅花の宴」が催され、九州管内諸国の官人32名が中国渡来の梅を題材に歌を詠み、文学史上に名高い大宴会の春の一日を楽しんだそうです。その宴会で詠まれた32首の和歌の前の序文が「令和」の出典元になりました。

【引用文】 初春令月 氣淑風和 梅披鏡前之粉 蘭薫珮後之香

【書き下し文】 初春の令月にして、氣淑く（きよく）風和ぎ（かぜやわらぎ）、梅は鏡前（きょうぜん）の粉（こ）を披き（ひらき）、蘭は珮後（はいご）の香（こう）を薫らす（かおらす）

【現代語訳】 時あたかも新春の佳き（よき）月で、空気は美しく風はやわらかに、梅は美しい女性の鏡の前に装う白粉（おしろい）のように咲き、蘭は身を飾った貴人の香をただよわせている。

※ 「令」の字には、「よい」「清らかで美しい」といった意味があります。

※ 「和」の字には、「まるくまとまった状態」といった意味があります。

それでは、私から、令和の時代の生徒会の発足にあたり、生徒会員である全校生徒の皆さんに一つの言葉を贈ります。

『努力する者は、夢や希望を語り、怠ける者は不平や不満を語る』



令和元年（2019年）

7月10日発行

7月の主な行事

5～11日3年三者懇談

8・9日1年宿泊学習

2年職業体験

13・14日中体連県大会

16・17日支部懇談会

20日吹奏楽東信大会

24日終業式

8月の主な行事

20日始業式

22・23日2年登山

28日音楽鑑賞会

学校教育目標

美しく

雄大な

浅間山に学ぶ